

報 廣 しばた

11
NOV. 2013
No. 625
since 1961

丹精込めた菊花は
大輪となる

みやぎ大菊花展柴田大会 開催中

期間：平成 25 年 11 月 13 日(水)まで
午前 9 時～午後 4 時

場所：船岡城址公園

主催：みやぎ大菊花展柴田大会実行委員会

(平成 24 年度宮城県大菊花展内閣総理大臣賞受賞者 近江 正巳さん)

未来へはばたけじばたっ子

子どもを育てる環境づくりはよりよい地域づくりへ



生涯学習課
TEL 55-2135
FAX 55-2132

教育委員会では、平成23年度より「家庭教育支援」「地域活動支援」「学校教育支援」の3つを柱とした「柴田町協働教育プラットフォーム事業」を展開しています。

これは、家庭・地域・学校の「協働」による教育活動を通じて、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進するものです。

協働教育による様々な体験活動や異世代間の交流は、学校教育の充実や子ども達の健全な育成につながります。また、子ども達の活動を支援する大人達の教育力が高まり、ひいては家庭や地域の教育力の向上にもつながります。

子どもを育てる環境づく

家庭 教育支援事業



① 講座を受講するお母さん達
② 柴田町子育てサポーターのみなさんと手遊び



③ タッチオープンでじばたっ子
④ しばた子育て支援ゆるりんのみなさんによる食育クイズ



③④ イクメン講座

様々な体験活動を通して、父子や父親同士のふれあいを深め、子育てについて振り返る機会を提供しています。食育クイズや調理指導では「しばた子育て支援ゆるりん」のみなさんの応援もいただいています。

①② 子育て親育ち講座

家庭での子育てについて、親が学ぶ機会を提供しています。講座の中では「柴田町子育てサポーター」のみなさんから、歌や手遊びなど、子どもとのコミュニケーションづくりに活かせる遊びも学んでいます。



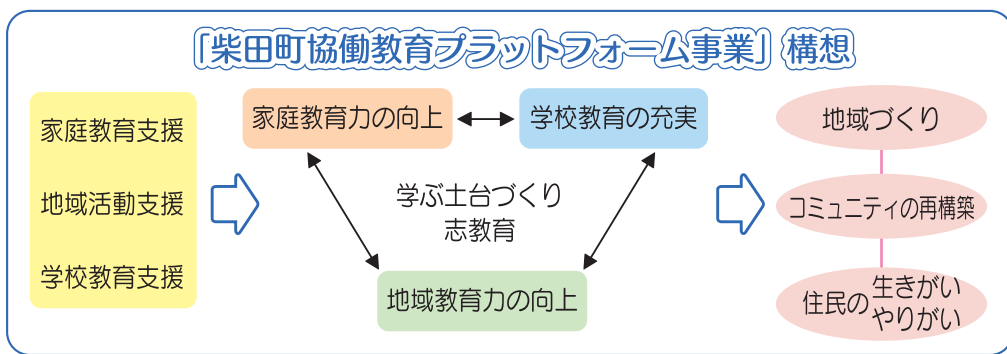
柴田町子育てサポーター
佐々木恵美さん

平成17年度から活動を始めて9年目になります。現在は21人のメンバーと一緒に、母親の育児サークル支援、にこにこワールドなどのイベント企画などを行っています。メンバー同士がフォローしあい、楽しみながら活動しています。

イベントなどで、お母さん達から「楽しかったよ」と言ってもらえたり、子ども達の喜ぶ顔を見ることで充実感や達成感を感じます。また、子ども達が成長していく姿を見ることが楽しみの一つです。

継続して活動していると、お母さん達とのつながりも深まっていきます。このつながりを大事にしてこれからも頑張りたいです。

りは、協働教育という手法を通して、住民の生きがい・やりがいづくり、地域の教育力を活かしたまちづくりやコミュニティの活性化が期待できます。



地域活動支援事業



③ 食生活改善推進員のみなさんと一緒においしい夕食づくり
④ 子ども達の力でテントを設営



① 手づくり「遊びブース」は大賑わい
② 婦人会のみなさんと折り紙遊び



③④ 自然体験キャンプ・合宿通学
「自然体験キャンプ」では、学区を越えた仲間やジュニア・リーダーとの共同生活を通して、思いやりの心を育てています。3泊4日の「合宿通学」では、家庭を離れ「食生活改善推進員」のみなさんからの指導で夕食づくりなどに取り組んでいます。

①② 柴田町子どもフェスティバル
柴田町子ども会育成会連絡協議会が中心となり、地域の垣根を越えて、町内6地区の子ども会が遊びのブースを出店し交流します。各種婦人団体連絡協議会、仙台大学レクリエーション部などのご協力もいただいています。

子ども達を地域でどのように見守っていくかを考えながら、長年、子ども会に携わってきました。現在は、核家族が増え、外で遊ぶ子ども達も少なくなりました。親同士や地域でのつながりも希薄になってきています。子ども会育成会は、地域で子ども達の成長を見守る、貴重な役割を担っています。

地域と学校が一体となって、子ども達の育成や親同士の交流を深めていくことが、地域を明るくし元気のある子ども達を育てる力となります。

今後は、子ども達が自ら活動し運営していく子ども会となるように、私達も更なる支援をしていきたいと思えます。



柴田町子ども会育成会
連絡協議会 会長
ひめち よしとむ
良地 良知さん



③ 婦人会のみなさんと昔遊び
④ 砂金社中のみなさんと初め
ての箏の演奏体験

3



4

③④ しばたっ子応援団の派遣

「深めよう学校と地域の絆」をキャッチフレーズに、地域学習、学校行事、農業体験、環境整備などで町民のみなさんから支援をいただいています。



1



2

① 自衛隊のみなさんのお話に興味津々
② 実演を踏まえた美容師さんのお話

①② キャリアセミナー

町内外の社会人のみなさんに、職業観や人生観についてのお話をいただき、自らの生き方や将来に対する夢や志を膨らませ、進路の選択や決定につなげます。昨年度は町内3中学校で、延べ44人の方から、車座でお話をいただきました。



6

⑥ ㈱五洋電子での部品組立体験

⑥ 職場体験学習

町内の約50の企業・事業所から協力をいただき、職場での体験を通して、勤労観や職業観を育成しています。地域の人々との交流により社会性や道徳性が育まれ、自分たちの住む町への愛着や誇りが芽生えています。



5

⑤ 正しいあいさつと礼を学びました

⑤ ビジネスマナー講座

大河原商業高校商業科の先生を講師に招き、身だしなみや言葉づかい、あいさつ、礼の仕方など「社会で通用するビジネスマナー」について、実践を交えながらわかりやすく指導をいただいています。

職場体験学習を通じて

船迫中学校では9月11日・12日に、(株)表蔵王国際ゴルフクラブや(有)船岡自動車整備工場などで職場体験学習を行いました。



総務課

大須賀 清さん

中学生の職場体験学習は、仕事や職場の雰囲気を経験させる場として、とてもよいことだと思います。

今回は、ゴルフの経験のない2人の生徒を受け入れました。一生懸命にやっている姿は、私達にも仕事を直すきっかけを与えてくれます。生徒達の視点で気づいたことを、受け入れ先の企業に教えてもらえれば従業員もよい刺激になります。

今回の体験で感じたことを、大人になった時や、何かのきっかけで生かしてほ

しいと思います。

生徒達の声

船迫中学校2年生

●高橋 悠斗さん

芝を毎日整備するということを聞きました。とても大変なことだと思いますが、お客さんに喜んでもらえる大事なことだと思います。従業員のみなさんは、常に周りに気を配り、笑顔でお客さんを迎えていました。



今回の体験は、仕事をす

る上でのマナーや感謝の言葉などを学ぶよい機会となりました。

●平井 奎太さん

初めてのゴルフ場は、きれいで整備が大変だと思いました。職場内はいろいろな役割をされていて、スムーズに仕事を進めているという印象を受けました。連携して仕事を進めることが大切だと感じました。また、責任をもって仕事をしていくことの心構えを学びました。

(有)船岡自動車整備工場



代表取締役

宗片 憲司さん

このような体験は、企業側としても、通常の仕事と比べて新鮮味があるし、生徒達の姿から学べることもあります。大切なお子さんを預かっているので、仕事はつらい、楽しくないと思われたいように気を使う部分もあります。仕事の雰囲気はもちろんのこと、あいさつや社会人としてのルールも学べるよい機会になるのではないかと思います。将来を考える時のきっかけになってくれればよいと思います。

生徒達の声

船迫中学校2年生

●柴田 蓮さん

仕事は大変だと思いましたが、従業員のみなさんがやさしく教えてくれました。掃除しているときにチャイルドシートの下に足跡があったので、お客さんのことを思いながら掃除をしました。お客さんからの「ありがとう」の言葉が、とて



も嬉しく思いました。これからもこのような体験をしていきたいです。

●半澤 響希さん

最初は仕事が出来るか不安でしたが、みなさんに教わりながら一生懸命やりました。車の中は複雑だったけど、最後にはフィルターの交換方法も覚えることができました。

難しい仕事が出来た時の達成感は、とても充実した気持ちになりました。

日本の景気が回復局面に入っているようです。さらに、2020年には、二度目の東京オリンピックの開催が決まり、東京都試算の経済波及効果は、約3兆円とも言われています。これでバブル崩壊後の「失われた20年」にも幕が下ろされ、新たな経済成長への期待が高まっています。

しかし、冷静に分析してみますと、それは東京を初めとする大都市圏での話で、地方においてはまだまだ景気回復の実感はありません。

アベノミクスによる成長戦略や東京オリンピック開催に向けた経済浮揚効果による今回の経済成長は、昭和40年代に全国津々浦々に恩恵が及んだ高度経済成長とは異なり、跛行性^{はこぎせい}が大きいのではないかと懸念しています。

その理由は、地方においては人口の減少や高齢化が深刻化し、働く若者が少なくなっていることです。さらに、コスト競争の激化やものづくり産業の空洞化によって、仕事のない若者や仕事があったとしても、臨時的雇用などの働き方を余儀なくされている若者が多いのが実情です。安定した仕事があれば、結婚して子どもを生み育てていこうとする気持ちがか

地方にとっての成長戦略とは

なくなるのは当然のことで、地方が元気を取り戻せない最大の要因ではないかと思っています。

このように、厳しい環境におかれている地方なのですが、一方で、希望の持てる若者たちの姿をテレビで見える機会が多くなりました。大都会の喧噪^{けんそう}から離れ、漁師や森林作業員になったり、長野県川上村などで、野菜づくりに励んだり、自然を相手に生き生きと仕事をしています。

彼らによれば、「田舎では都会と違って、便利な生活や地位や名譽は手に入れないが、自然の中で汗をかいて働き、地域の人々や仲間と協力し、助け合いながら仕事をすることに喜びを感じる」と言うのです。

これまでの人生観や価値観からすれば、「都落ち」のレッテルを貼られるところですが、そうした田舎の仕事にやりがいを見出し、自分にあったライフスタイルを楽しむ働き方や生き方は、これからの時代においては「都落ち」どころか最先端の生活モデルとなるのではないのでしょうか。

日本の成長を考える切り口は様々ですが、地方にとっての成長戦略とは、若者が自然を相手に生きがいをもって働ける仕事や若者にとって居心地の良い場所を数多くつくることではないかと思えます。



はなみちゃんからの フラワーレター

ガーデニングを楽しんで! 11月の庭仕事

- ❖ シュウメイギクなどの耐寒性宿根草は地際で茎を刈り取り、株もとには腐葉土や堆肥をすき込みましょう。
- ❖ ダリアなど寒さに弱い球根は掘り上げて、乾燥しないようにビートモスなどに保存しましょう。
- ❖ パンジーなどは本格的な寒さが来る前に植え付けて、しっかり根を張らせましょう。



昨年11月15日撮影 白石川桜並木

紅葉の時期ですね。味わい深い桜の紅葉もぜひご覧ください。



あなたの手で、館山の景色を作ってください。

みんなでつくる花のまち柴田「館山植栽会」

日時/11月2日(土)9:30~11:30(小雨決行)
集合場所/船岡城址公園の旧勤労青少年ホーム前に軍手や移植ペラを持参のうえ、作業しやすい服装でご参加ください。

固.....
まちづくり政策課
☎54-2111



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ7

健康推進課 TEL 55-2160
FAX 55-4172



「防いで! 守って!」

自分で出来る感染予防を実践しましょう

【効果的なうがいをしましょう】

ブクブクうがい(※1)を1回した後、ガラガラうがい(※2)を3回しましょう。

- ※1 水を口に含み、ブクブクして吐き出す
- ※2 水を口に含み、のどの奥まで届くように上を向き15秒間ガラガラして吐き出す



【こまめに手を洗いましょう】



指先、爪や指の間、手首は洗い残しが多い場所です。意識して15秒間洗いましょう。

【咳エチケットで感染拡大を防ぎましょう】

くしゃみや咳の飛沫^{ひまつ}は2~3mです。周囲にかからないようにしましょう。また、鼻と口の両方を覆うマスクを使用し、使用後はすぐに捨てましょう。



第7回目のテーマは「インフルエンザの感染予防」です。秋から冬にかけて流行するインフルエンザは、感染力が非常に強い感染症です。肺炎や脳症などの重症化を招く場合もあります。感染を広げないためにも、一人ひとりが予防対策を実践しましょう。

インフルエンザと風邪の違い

	インフルエンザ	風邪
症状	<ul style="list-style-type: none"> ○突然38度以上の発熱 ○のどの痛み・鼻水・咳など ○頭痛・関節痛・筋肉痛など 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較的ゆっくりと発熱 ○のどの痛み・鼻水・咳など

ワクチン接種(予防接種)で感染や重症化を防ぎましょう

- Q** ワクチンの効果は?
A 発熱やのどの痛みなどの発症を抑える効果が一定程度認められています。
- Q** ワクチンの効果はどのくらい持続するの?
A 接種した日から2週間~5か月間程度とされています。毎年、インフルエンザのピークは1月~2月です。12月中旬までに接種しましょう。
- Q** 毎年ワクチン接種した方がよいですか?
A 流行するウイルスの型は毎年変わります。ワクチンはそのウイルスに合わせて製造されるので、毎年接種しましょう。

保健師からのワンポイントアドバイス

インフルエンザの症状で、子どもでは「けいれん」「顔色が青白い」「呼吸が早い」など、大人では「呼吸困難」「胸の痛み」などが重症化のサインです。「インフルエンザかも?」と思ったら、早めに医療機関で受診しましょう。

告 告

告 告

まちかど NEWS



美味しいごはんをいっぱい食べました



元気いっぱいの「大黒舞」の演舞。ポーズも決まりました。

秋の味覚を楽しむ

NEWS

9月29日(日)、柴田町太陽の村で開催された第10回しばたコメ祭りには、実りの秋を楽しむもうと多くの方が訪れ、新米と地場産の食材をふんだんに使った食事を味わいました。土手内在住の日下正子さんは「新米はふっくらとしていて大変美味しかったです。毎年、楽しみにしています。」と話してくれました。

また会場は、柴田小学校2年生による大黒舞や熊野幼稚園の園児による鼓笛隊演奏も披露され賑わいを見せていました。

新たな秋の風物詩 第1回曼珠沙華まつり

NEWS

9月20日(金)～10月6日(日)に、第1回目となる曼珠沙華まつりが船岡城址公園で開催され、約11,000人が来場しました。曼珠沙華とは彼岸花の別名で、公園の花はサクラウオーカーズのみなさんを中心となり、3年をかけて約5万株を植栽しました。サクラウオーカーズ代表の庄司和彦さんは「みなさんの協力をいただき、やっと開催することができました。植栽していない場所もあるので、もっと増やしていきたいです。」と開催を喜びました。



鮮やかな赤色の花びらがお出迎え

広 告

味と心でおもてなし

しばたB級グルメグランプリ

10月20日(日)、船岡城址公園で第3回目となる「しばたB級グルメグランプリ」が開催されました。当日は雨模様の中、約2,500人が来場し、町内17の飲食店が出品した自慢の料理に舌鼓を打ちました。広報部長の相良耕市さかろうこういちさんは「町の素晴らしさを再発見してもらうため開催しています。『さくらとグルメの町、柴田』として全国的に有名なイベントにしていきたいです。」と意気込みを語ってくれました。



今年のグランプリは酒肴亭村田やさんの「そばがんど」

職人達の競演

第1回しばた匠まつり

全国各地から陶芸や皮工芸、木工などの職人達が集結し、来場者とふれあいながら販売を行う第1回しばた匠まつりが、10月5日(土)と6日(日)に柴田町太陽の村で開催されました。2日間で約6,000人が訪れ、職人達が作ったぬくもりある作品に目を奪われていました。槻木在住の大宮光子さんは「作品についてのお話も聞けて楽しい時間を過ごせました。来年の開催も楽しみにしています。」と話してくれました。



手仕事による作品はどこか懐かしさを感じさせます

新たなスタートに向けて

柴田児童館がリニューアル

建物の改修工事が完了した柴田児童館の内覧会が、10月6日(日)に開催されました。約200人の来場があり、家族で訪れた菅野充洋さんは「私も柴田児童館を卒園しました。春から娘を入園させたいので、内装やトイレがきれいになって良かったです。」と満足した様子で話されました。新装した児童館は、来春から(仮)第二たんぽぽ幼稚園(開園予定)として生まれ変わります。



入園が待ち遠しいね

広 告

広報 しばた 有料広告募集中!

「広報しばた」に掲載する広告を募集します。お店や会社のPRなど、くらしに役立つ広告をお待ちしています。掲載料金などの詳しい内容については、お問い合わせください。

☎ まちづくり政策課 ☎ 54-2111

町長へのメッセージ

町政について「このようにして欲しい」「こんなことを取り入れたらどうだろう」と思っていることはありませんか。

町では、より良いまちづくりのために、町民の皆さんからご意見をいただき、町政に生かしていきたいと考えています。

今月号には、皆さんからのご意見・ご提案をお寄せいただくために「町長へのメッセージ」のはがきを折り込みました。

お寄せいただいたご意見などは、町長がすべてに目を通して、関係各課と協議をした上で、政策立案の参考にさせていただきます。なお、お寄せいただいたご意見などの内容の要旨を、プライバシーに配慮して「広報しばた」「町ホームページ」に掲載させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

皆さんの声をお聴かせください



こうほう 文芸

俳句

思ひ出は思ひ出を生み冬紅葉
 楓木 永井 堯
 いかるがは国のまほらや柿たわわ
 下名生 笠松ふみ子
 亡き父を偲んでつくる栗御萩
 西船迫 玉手みき子
 蝶降りて彩り冴えし秋桜
 楓木 大泉かずえ
 山道をころげる栗に追いつかれ
 西船迫 安ヶ平奈津枝
 風にゆれススキたわむれ散歩道
 船岡 安藤 節子
 台風に負けしと急ぐコンバイン
 葉坂 青柳 陽子
 半殺し(おはぎ)佛の前で味見せし
 大槻 信吉
 水切りで遊ぶふるさと賜日和
 小野 憲彦
 柿の秋城下の辻の丸ポスト
 江戸 裕子
 風立ちぬ雁来る頃の長老湖
 上遠野三恵
 参拝の木霊還るや冬蔵王
 鎌形 清司
 生きてゐる奇蹟や卓に新走
 鈴木 三山
 浜宿の志功の菩薩夜長かな
 鈴木 清子
 手品師の十指勤勞感謝の日
 鈴木 幸子
 枯るるものばかりや遠く貨車通る
 相馬カツオ
 書き損じはがき文箱に冬日和
 松崎 利保
 日も月も空を漂ひ神無月
 石母田星人

川柳

熱入れてやらねば出来ぬ習い事
 船岡 阿部美代子
 まだ着れる迷いながらも夏仕舞う
 船岡 伊藤タイ子
 ビール飲み肝臓守るしじみ汁
 西船迫 安ヶ平良三
 中秋の名月肴に月見酒
 西船迫 渡辺 晴奈
 追突をしない程度のお付合い
 四日市場 齋藤夢太郎
 長風呂に安否気遣う妻の声
 四日市場 坂本 一風
 川柳を秋の夜長にひとひねり
 上名生 西村 久子
 秋櫻咲いて野山に秋を告げ
 船岡 菅原 三男
 千の風お墓空っぽ天にいます
 船岡 佐藤 益子
 彼岸花今を盛りと咲き誇り
 船岡 鈴木 智子
 錦秋の絵巻を思う衣更え
 船岡 島貫よし雄
 五輪まで生きねばならぬ秋深し
 船岡 萩原 善助
 今日の日もおわり近づく夕日かな
 楓木 加藤 利通

短歌

地球儀をクルクルまわしスポーツの
 世界のまつり孫と語りて
 本船迫 森田 眞六
 夜が更けて微動だにせずコスモスは
 夢見つ、も眠るがごとく
 船岡 沢田 順子
 秋はれて稲架稲かへす姫らの
 小びるの畔にしようぜつの花
 船岡 つかのめ けい子
 またひとつ皺がふえたと髭を剃り
 独り言吐く秋の夜長は
 葦神 葛

広 告

広 告



夢空間 2013



女王の番犬 (ペンネーム)



はなちゃん (ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「ひまわり」

東船岡小学校1年

佐藤 希乃花 さん



「理想の町」

東船岡小学校6年

嶺岸 朱里 さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2013)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで11月11日(月)までご応募ください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

ご利用をお待ちしています

「まちづくり出前講座」

町職員が皆さんの集会や会合に出向いて、町政について分かりやすくお話しする「まちづくり出前講座」を実施しています。

多彩なメニューをご用意していますので、ぜひ、ご利用ください。

申問 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



2m×4mの大きな道路標識を仕上げる村上さん

「私が作った案内標識を街で見かけると仕事をした達成感が湧いてきますね。」と話す村上さんは、東北積水樹脂株式会社に入社し12年になります。

標識は、基板の製造、貼り、梱包の3工程を経て出来あがりです。主に、貼りの工程を担当している村上さんは、以前、材料発注業務に携わっていたことから、低コストで高品質の標識を製造することを意識して仕事に取り組んでい

ます。「標識も車と同じように進化してるんですよ。会社の敷地内にある標識は、LEDがついているんですが、これもその一つです。今までと同じ製造方法では出来ないことが多いため、日々研究です。見やすくてわかりやすい、新しい標識を作っていければいいですね。私が作った標識が、1件でも交通事故を減らしてくれば仕事のやりがいも感じます。」と語ってくれました。

白石市にお住まいの村上さんは、休日には2人のお子さんと一緒に、共通の趣味であるゲームやプラモデルで遊ぶことが楽しみだそうです。また、柴田町は若い人が多く、飲食店もいっぱいあって住みやすい町だとの印象をお持ちのようです。

人と車の安全を守る案内標識

東北積水樹脂株式会社
製造課 標識板係

主任

村上

むらかみ

淳さん(35)

じゅん

東北積水樹脂株式会社

柴田町大字四日市場字二本木 86-1



「MADE IN 東北」を合言葉に、 東北の標識を製造する

積水樹脂株式会社の開発した交通安全用品および標識板の製造を主目的に、昭和45年10月8日に設立。特に、一般道・高速道の標識板については、一貫メーカーとして充実した生産諸設備を有す。

を作る村上さんは、家庭では優しいパパとして、会社では製造部門の要として活躍されています。

人口と世帯数

(平成25年10月1日現在)



38,658人
(前月比11人増)



19,203人
(前月比10人減)



19,455人
(前月比21人増)



15,076世帯
(前月比23世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。